

2025年度 歴史地理学会第68回大会・総会プログラム

1. 期 日：2025年 5月31日（土）・6月1日（日）および2日（月・巡検）
2. 会 場：愛知県立大学長久手キャンパスS棟・B棟 〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間1522-3
*キャンパスマップ <https://www.aichi-pu.ac.jp/about/special/campusmap.html>
交 通：東部丘陵線（リニモ）「愛・地球博記念公園」駅下車 徒歩約5分
3. 日 程：5月31日（土）
12:30～13:30 評 議 員 会
13:40～14:40 総 会
14:50～17:00 公開講演会
17:30～19:30 懇 親 会（第1食堂）
6月 1日（日）
10:00～16:30 研究発表会〔共同課題・自由論題〕
6月 2日（月）巡検（愛知県半田市）

4. 公開講演会

- 演 題：中西僚太郎氏（筑波大学教授）
「帝国日本の市街図と鳥瞰図」
中島 茂氏（愛知県立大学名誉教授）
「近代期尾西毛織物業の展開とそれを担った人々―織物工業主と力織機製造業者―」
- 会 場：愛知県立大学長久手キャンパスS棟
参 加 費：無 料

5. 研究発表会

- 自由論題および共同課題「近世・近代移行期の歴史地理」
- 会 場：愛知県立大学長久手キャンパスS棟
大会参加費：1,000円
- *当日、大会受付（B棟）で資料集と引き換えにお支払いください。
*下記Googleフォームで参加申し込みをしてください。

6. 懇親会

- 会 場：愛知県立大学 第1食堂
会 費：5,000円（学生は3,000円）
- 愛知の郷土料理・地酒などを取りそろえてお待ちしております。
- *当日、大会受付でお支払いください。
*5月22日（木）までに、下記Googleフォームで参加申し込みをしてください。

7. 昼 食

- 31日（土）・1日（日）ともに学内食堂の営業はありません。愛・地球博記念公園駅南側のモリコロパーク内に食堂・コンビニエンスストアなどがありますが、店舗数は少なく、観光客で混み合います。各自、来場前に昼食を用意されることをお勧めします。

8. 大会参加の事前申し込み

下記のURLから5月30日（金）午前10時までに参加申し込みを受け付けます。回答の記入欄には、ご所属・お名前に加えて、研究発表会・総会（不参加の方は委任先）・懇親会・巡検のご参加予定に関する質問項目を設けております。

* 懇親会参加者は5月22日（木）までにお申し込みください。

* 2025年度歴史地理学会第68回大会参加申込サイト（Googleフォーム）

<https://forms.gle/ULsFygyYBt7C9Kkf8>

* 未登録の方の参加も受け付けますが、できるだけ事前にGoogleフォームでの登録にご協力ください。



大会参加申込みサイト

9. 巡 検

テ ー マ：「近世・近代移行期の半田・亀崎一醸造業と山車文化のまちを巡る」

集 合 日 時：6月2日（月）10時

集 合 場 所：JR「亀崎」駅改札前（参加者には集合場所の情報を大会受付で配布）

コ ー ス：JR亀崎駅（集合）→望洲楼→大坂・神前神社（亀崎潮干祭）→JR亀崎駅→JR半田駅→昼食→小栗家住宅→半田運河→國盛 酒の文化館→旧中埜家住宅（15時半頃解散予定。最寄り駅：名鉄知多半田駅またはJR半田駅）

（オプションルツアー：半田赤レンガ建物，最寄り駅：名鉄住吉町駅）

案 内 者：石川萌恵（半田市立博物館），柴田陽一・服部亜由未（愛知県立大学），若林あかり（愛知県立大学・院生）

参 加 費：昼食代と資料代（合計2,000円）を集合場所でお支払いください。
他に電車代200円が必要です（ICカード可）。

参 加 定 員：最大 15名，最小 5名

申 込 方 法：Googleフォームで参加申し込みをしてください。

10. 宿泊情報

名古屋駅，または地下鉄東山線沿いの駅周辺が便利です。早めの予約をご検討ください。

11. 大会開催中（5月31日，6月1日）の緊急連絡先

愛知県立大学柴田研究室 E-Mail：shibata@jps.aichi-pu.ac.jp

〈大会実行委員会〉

柴田陽一（委員長）・服部亜由未（以上、愛知県立大学日本文化学部），

石川萌恵（半田市立博物館），野中健一（立教大学文学部）

2025年度大会から従来の郵送による出欠確認（含 委任状のご提出）を改め，上記（8. 大会参加の事前申し込み）URLを用いた形式を採用します。これは，出欠数・委任先の確認に関する事務負担の軽減に加え，大会開催校での懇親会参加者数の予測を容易にするために導入いたします。2025度は移行期として従来のハガキも送付いたしますが，webを用いた確認作業にご協力ください。

12. 研究発表会

◇6月1日 日曜日

●第1会場

【共同課題】

〔座長：加藤晴美〕

101 (10:00~10:30) 関戸明子 (群馬大)：江戸後期から明治期における草津温泉の共同浴場と湯治の実態

102 (10:30~11:00) 柴田将吾 (京都大・院)：私塾経営者における書物の役割と意義

—山本読書室を事例として—

〔座長：関戸明子〕

103 (11:00~11:30) 新田悠樹 (筑波大・院)：明治初頭における「城地」・「内山下」・「士族地」の処分過程

—磐城平城を事例に一

104 (11:30~12:00) 村上晴澄 (京都大・研)：近世・近代移行期の街道における車両通行と道路改良

【自由論題】

〔座長：米家泰作〕

105 (13:00~13:30) 徳安浩明 (日本女子大)：18世紀中頃以降の美作国上齋原村における木地屋起源集落の再編成

106 (13:30~14:00) 役重達也 (筑波大・院)：近代の兵庫県宍粟郡における製炭業の展開

—八家家文書の分析を通して—

〔座長：飯塚公藤〕

107 (14:00~14:30) 網島 聖 (佛教大)：植民地期朝鮮における日系薬品業者の進出と薬品取引制度の再編

108 (14:30~15:00) 坂口 豪 (筑波大・院)：近代における結核転地療養地の形成

—神奈川県湘南地域を事例として—

109 (15:00~15:30) 重永 瞬 (京都大・院)：近代京都における露店の変遷と都市周縁

〔座長：湯澤規子〕

110 (15:30~16:00) 加藤晴美 (東京家政学院大)：信州高遠における花街の形成と生活

—女性労働と食に着目して—

111 (16:00~16:30) 麻生 将 (二松学舎大)：近代における無教会主義キリスト教信者の生活世界と生きられる空間 —斎藤宗次郎『二荊自叙伝』を手掛かりに一

●第2会場

【自由論題】*は登壇者

〔座長：牛垣雄矢〕

202 (10:30~11:00) 発表辞退

203 (11:00~11:30) 市道寛也 (関西学院大)：新制大学の前身校に進学した人びとの人口移動

—関西学院を事例に一

204 (11:30~12:00) 大澤淳平 (京都大・院)：神奈川県小田原市のまちづくりにおける多層的な歴史の選択と活用

〔座長：山元貴継〕

205 (13:00~13:30) 小池田奈々 (岩崎城歴史記念館)：尾張国における城の立地に関する考察

206 (13:30~14:00) 神 英雄 (安来市加納美術館)：堀田仁助(写)「箱館湊近海浅深測量」について

207 (14:00~14:30) 林 哲志 (愛知県立成章高)：渥美半島伊良湖村における買収地の「買上代金」からみた明治37年の景観

〔座長：山下琢巳〕

208 (14:30~15:00) 宮本真二 (岡山理科大)*・安藤和雄 (京都大)・市川昌広 (高知大)・吉野馨子 (東京農業大)・大西信弘 (京都先端科学大)・Nityananda Deka (インド, ゴウハティ大)・Md. Rashedur Rahman (バングラデシュ農業大)・浅田晴久 (奈良女子大):
アジア・モンスーン地域における近代以降の都市化の進展と洪水浸水域の地域的変容

209 (15:00~15:30) 田川和佳奈 (名古屋市役所): 箱根における災害復興—関東大震災を事例に—

〔座長：花木宏直〕

210 (15:30~16:00) 山元貴継 (琉球大): 沖縄島中南部の「シマ (村落)」構造への再検討
—「屋取」に注目して—

211 (16:00~16:30) 小島泰雄 (京都大): 中国における地方志の変遷から日本の風土記を考える

<キャンパスと会場>

